

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まんよりの里キッズ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成(立案)過程の細かなアセスメントや評価。	利用日ごとに支援計画の一つ一つのねらいに対して評価を行い、更新前に達成割合を算出。更新に伴い、同じねらいが継続する場合でも達成割合の変化やエラーが生じているポイントの変化等を明示的にお伝えしている。	支援計画作成(更新)にあたっての情報提供についてとても協力的な関係機関(幼稚園、保育園等)が多く、作成後の支援計画の共有(フィードバック)を徹底していく。
2	職員研修体制の充実	毎月、内部研修を開催している他、有識者(大学教員)によるコンサルテーションを受けている。令和6年度は構造化を中心とした事例検討等を重ねている。事前に大学へ赴き、研修内容の打ち合わせや事例の詳細について確認した上で研修に臨んでいる為、現場で必要と思われるスキル等に直結した内容が確保できている。	一人のお子さんの数年単位での経過を追っていくことができる事例検討や研修内容が構築できればと考えている。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での日々のこどもたちの状況(活動の結果や課題への反応等)の細かな情報共有	常勤職員間では日々の状況が共有しやすいが非常勤職員の場合、勤務時間等の都合上、振り返りや細かな打ち合わせの前に退勤せざるを得ない場面もある。個人情報の観点もあり、メール等での共有も限界がある。	職員からの提案をもとに職員向けの記録の書き方や方法等の見直しを行う。
2	きょうだい児支援に向けた取り組み	個別ケースごとにきょうだい児に関する相談に対応しているが保護者全体に対してイベントや研修等の企画までは実現できていない。日々のアセスメントにおいて事業所に通っているお子さんと保護者との関係に視点が偏りやすい傾向がみられる。	支援計画更新前の聴き取り場面等の面談機会においてきょうだい児を含む生活状況の確認を促進する。
3			